

ARISENの立ち上げ方

新しいコミュニティづくりを目指して



ARISEN

ARISENの特徴



はじめに

- ARISENを立ち上げるために

ARISENを立ち上げるためには、立ち上げの「場」となるところに、既に分子集合が存在していることが前提になります。

ここで言う分子集合とは、例えば、ARISENを種と見なして、その種を撒くための肥沃な土地を意味します。

しかも、この肥沃な土地には、何代にも渡り（持続的かつ復元力を備えた環境）そこに撒かれた種を育てることができるように、外界から必要な資源（養分＆エネルギー）が供給されることが必要です。

- 前提条件

1. 肥沃な土地（場＋養分）

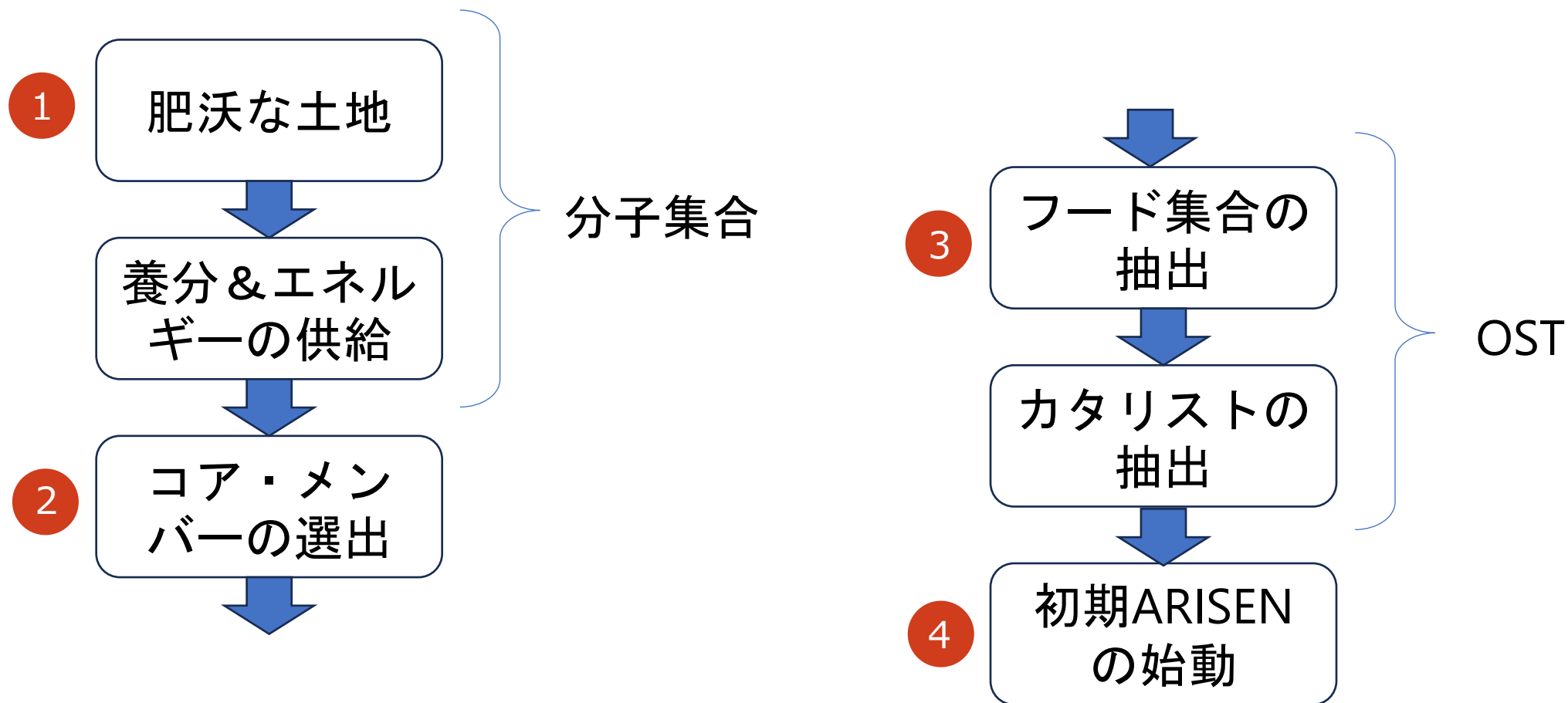
2. 生育に必要な養分とエネルギーの供給

Webで「代謝」を検索してみると、『生命を維持するために体内で起こる物質の化学反応の総称』とあります。

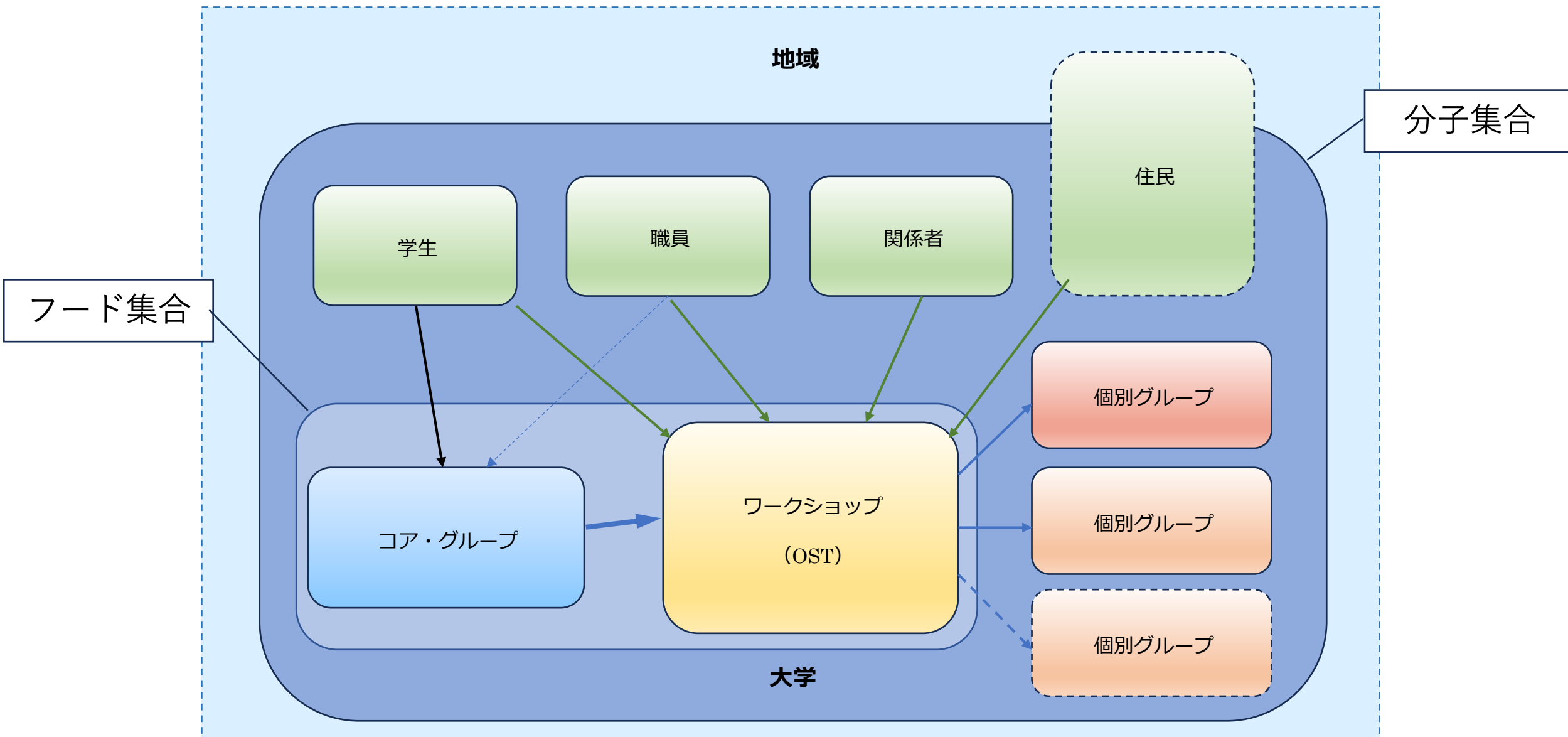
ただ、生命の起源について考えるとき、生命そのものよりも先に、生命活動の根幹をなす「代謝」が先に存在するという考え方があります（代謝先行仮説）

ARISENを立ち上げるための前提条件は、この代謝先行仮説によるものです。

ARISEN立ち上げの流れ



初期ARISENモデル（本件の例）



- ARISENの前提条件

ARISENの中核を成すものは、カウフマンのRAF(Reflexively Autocatalytic and Food-generated)モデルです。

少し分かりづらいかも知れませんが、RAFモデルでは、初期に用意された分子群（無限に供給される）をフード集合と呼び、フード集合内のすべての反応基質（触媒と結合して別の物質：生成物に変換される物質）が外部に依存することなく、フード集合内で自己完結することが前提となります。

RAFモデルでは、系を構成する個々の要素を「分子」と表現します。 ARISENでは、この要素のことを「モレキュール」と呼びます。

今回のARISEN（初期ARISEN）では、系全体を大学に設定しているので、学生、教員、職員、大学関係者および一部の地域住民などがモレキュールに相当します。

現実社会でARISENを実践しようとするときは、モデルを以下のように置き換えます。

1. フード集合：外部から与えられる初期条件
2. 到達可能集合：内部で育つ資源（人材・道具）
3. 反応：活動、仕事、相互作用
4. 触媒：促進役、キーパーソン

- 必要最小限の準備

備品

モデルでは、初期フード集合の内部に必要な要素（分子）はすべて含まれています。ただし、触媒は確率で発生するため、確率が低い場合は、新しい分子の出現に生物進化的な時間が必要です。

そこで、モデルを現実のものとするために、初期段階において一度だけ、確率を人為的に高くする手段をとります。

具体的には、初期触媒としてのコア・メンバーの選出を、説明会などを通じて行うことになります（OSTで行うこともできます）

フード集合 & カタリストの抽出 (OST)

- 一連の流れ

- コア・メンバーの選出に続き、分子集合からフード集合（＝モレキュールの集まり）とカタリストを抽出するために、OSTを開催します。
- ARISENにおけるOSTのテーマは、一貫して「新しいコミュニティづくり」です。OSTでは、参加者のレディネス（心の準備）を高めるために、事前に開催目的やテーマについて参加者に周知します。参加者との対話の時間を用意することで、テーマに対する理解を深めることができます。
- OSTの中でコア・メンバーは、ファシリテータとしての役目を担うグループと、「カタリスト育成」、「ARISENモデル」をテーマに掲げ

た分科会を立ち上げるグループに分かれて行動します。

- OSTの結果、ARISENと異なる方法で同じテーマを実現しようとする分科会が生まれるかも知れません

それらの分科会とARISENの関係については、別のテーマ（ARISENネットワーク）としてお話ししたいと思います。

- 「カタリスト育成」をテーマに掲げた分科会に参加者が現れなかった場合は、引き続き同様のOSTを定期的 to開催するようにします。

※ 必要なカタリストの人数は、モレキュール6人に対して1人程度とします。

初期ARISENの始動

- 目的は一貫して「新しいコミュニティづくり」

ここは空白にしてあります。

カタリストが抽出されたら、次はいよいよ初期ARISENの始動に移ります。ARISENの進め方については、「ARISENの進め方」をご覧ください。基本的な流れはOSTと同様です。

初期ARISENが始動した後に、コア・メンバーは一旦解散します。もちろん、コア・メンバーはそのままARISENのカタリストとして活動することもできますし、モレキュールとしてARISENグループに参加することもできます。

ただし、ARISENのカタリストとして振る舞うことができるかどうかは、モレキュールを含め毎回確率で決めることになります。